

研究実施のお知らせ

2024 年 1 月 20 日 ver.1.1

研究課題名

外反母趾に対する第 1 中足骨近位矯正骨切り術の臨床成績に関する後向き研究

研究の対象となる方

2010 年 4 月から **2023 年 7 月**の間に島根大学医学部附属病院で外反母趾に対し第 1 中足骨近位矯正骨切り術を受けられた方

研究の目的・意義

本研究の目的は、外反母趾に対する第 1 中足骨近位矯正骨切り術の術後臨床成績を明らかにすることです。

保存治療で改善しない外反母趾に対し矯正骨切り手術が適応され、中等度から高度な変形に対しては上記手術が選択されます。母趾外反に対する良好な矯正力を提供できることはわかっていますが、一方で母趾回旋矯正が十分できているのかについて不明な点があります。また、矯正後に足底荷重バランスが崩れることがあり新たな痛みの原因となること知られていますが、何がその要因なのかわかっていません。

本研究により第 1 中足骨近位矯正各骨切り術の臨床成績を検討し、母趾回旋矯正具合の変化を明らかにし、また足部バランスが破綻する要因を明らかにします。この結果は患者さんごとに最適な治療法を提供する上で重要な情報であり、臨床的に大きな意義を持ちます。

研究の方法

研究は患者さんから伺った症状の変化や身体所見（外反変形度合い、関節安定性、関節可動域など）に加え、画像検査（レントゲン、CT など）から外反母趾矯正角度、骨癒合までの時期、関節軟骨や周囲組織の性状をカルテから収集することで調査し、手術前後で比較を行います。また血液検査結果から感染症の有無や全身状態（肝機能障害や腎機能低下の有無など）も評価します。

本研究で収集した個人情報（島根大学整形外科学講座内の厳重に管理されたコンピュータ）に保管します。新たに識別番号を設け、個人特定できないよう配慮します。また収集した生データの外部持ち出しは行いません。

本データは研究結果の最終報告を行ってから少なくとも 10 年間保管し、以後個人

を識別できない状態で廃棄します。

研究の期間

2022年4月（研究許可後）～**2026**年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部整形外科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部整形外科学講座 今出真司

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、**2024年8月**までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：今出真司

島根大学医学部整形外科学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236